

令和元年度「安全啓発活動委託事業」実施内容と主な成果

市・町P連	実施内容 / 事業実施後の主な成果
加賀市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片山津中学校の坂の下にある横断歩道に、安全運転を呼び掛ける看板の設置（2枚） <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校近くの横断歩道は、車が高速で通過しやすい道路であり、また坂の上にある校舎から坂を下って降りた出口にあるので、大変危険な場所である。看板を設置することにより、生徒やドライバーへの安全運転をよびかける（危険箇所を知らせる）重要な役割を果たしている。
小松市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯用車内表示を作成し、PTA 会員・校区防犯隊の方へ配布 ・保護者・地域から要望があった見通しの悪い道路にカーブミラーを設置 ・救命処置用マット担架の購入 ・「飛び出し君」を購入し古いものと交換、設置 ・道路の「とまれ」標識の場所に足型を書く ※ 事業参加希望校の8校に分配 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域の方が車に表示を乗せる事で普段から子どもを見守る防犯意識の向上 ・カーブミラーによって運転手への注意喚起につながり、登下校時の安全確保ができた ・足型による児童への注意喚起により飛び出しを防止することにつながった ・救命処置が必要な時の AED、保健室への移動等が容易になった
能美市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の通学路における危険箇所を点検し、危険箇所における児童への注意喚起や安全啓発につながる看板を2本発注、購入した。 ・地域の見守り隊の方々が着用される帽子の購入費にあてた。 ・「一旦停止」を呼びかける啓発看板の制作にかかわる費用の補助にあてた。 ・近辺でクマ出没の頻度が高く、屋外活動における児童の安全確保のために、クマ撃退スプレーを購入。 里山公園での学習、虚空蔵山ウォークラリーなどの屋外活動の際に、先頭職員が携帯した。 ・PTA「浜っこ見守り隊」における地域パトロールにて、車両に貼るマグネットステッカーが老朽化し、文字が見えにくくなっているものや、車に貼れないものが生じていたため、新しくマグネットステッカーを調達した。その際の代金の一部として活用させていただいた。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に牛島地内の農業用水近辺に立てることにより、登下校時における児童への注意喚起につながった。保護者からも安堵の音が聞かれた。 ・古くなった帽子を新調し、メッシュタイプのものに替えたため、暑い時期でも「涼しくなった」と好評の音があった。 ・古くなって文字が剥がれてきていた看板の代わりに正門前に設置した。はっきりとした色、文字のものとなり、生徒の意識向上の一助となっている。 ・安心して活動に臨むことができた。 ・マグネットステッカーがはがれやすかったことが解消され、車を傷つけずに安心して貼ることができた。また、「浜っこ見守り隊パトロール中」のマグネットステッカーをしっかりと車両に貼って巡視活動を行うことで、活動中であることを周りに知らせることができた。
川北町	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車や人員の整理のためのカラーコーン、カラーバー、ロープの購入 ・防犯ボランティアの安全確保のための、ジャンパー、ベスト、帽子、腕章の補充 ・校区内安全マップの印刷と配布 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の交通安全指導や運動会等の不特定多数が集まるイベントの際に腕章・ベストや帽子を身につけることで、児童や保護者、地域の方の安全意識が高まり、有効な抑止力となった。 ・車や人員の整理、禁止区域の明示、誘導通路の確保等に使用し、防災訓練や安全指導が効率よくできた。 ・校区安全マップを作成し、児童や家庭・地域に配布することで、安全意識が高まり、児童を地域ぐるみで守ろうという機運が高まった。

<p>白山市</p>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊との意見交換会（単P会長会議にて） ・意見交換会議事録を各校に配布・意見交換会開催を広報紙にて周知 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位PTA会長会議にて見守り隊との意見交換会を行うことによって、見守り隊の現状を知る事ができ、また重要性を深めた。 ・PTA会員には、広報紙にて見守り隊の活動の現状と重要性を周知した。 <p>○会長会議</p> <p>2019年6月22日（土） 於 白峰 八鵬</p> <p>白山市内小中学校PTA会長対象に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 単位PTA会長22名、市P連役員11名、白山市子ども見守り連絡協議会4名 ・「子ども見守り隊と意見交換」60分 <p>(意見交換例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域により見守り隊の仕方に違いがある。 ・見守り隊がいるだけで事故等の未然防止につながる。 ・子どもたちと毎日顔を合わすことで、子どもの変化に気づく。 ・朝、子どもたちがきちんと挨拶してくれる。 ・見守り隊の高齢化により参加人数が減っている、若い方には是非参加してもらいたい。 ・見守り隊と学校や保護者との意見交流が必要。 ・近隣の企業等に、ながら見守りをお願いしている。 ・人手不足がこれからの課題となる。（地区ごとで参加者の集め方に違いがある） <p style="text-align: right;">など</p> 
<p>野々市市</p>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各単P（7単P）へ安全委託費と市P連補助金を合わせて配布 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒の登下校安全対策活動費に充当 （各単P校区の「見守り隊」活動の備品購入及び既存備品（注意喚起看板等）補充費とする）
<p>金沢市</p>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルカバー配布 金沢市立小学校の新一年生が背負うランドセルに黄色のカバーを装着させ、運転者からよく見えるようにした。 ・自転車乗車時ヘルメット着用普及事業遂行 自転車乗車中の事故から身を守るヘルメット着用の推進を目指し、実践単位 PTA(小学校)、モデル単位 PTA(中学校)による実践を行い、その成果を市内全域に広めてきた。 令和1年度までの小学校実践校47校 中学校8校単位 PTA ・自転車乗車時のヘルメット着用啓発のポスターやリーフレットを作成し、各学校や公共施設、各家庭に配布した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新一年生の登下校中の安全の確保に寄与するとともに、児童の交通安全への高揚を図ることができた。 ・実践校及びモデル校による先行実践の成果を広めることで、より一層家庭や学校でヘルメットの着用を推進する動きが見られるようになった。着用率の向上も見られる。
<p>内灘町</p>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場での安全確保のため、コーンサインポケットボード、アスファルト補修材購入 ・安全ボランティア用のベスト購入 ・防犯ブザー購入 ・携帯熱中症計購入 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路や学校駐車場等の安全確保をし、児童生徒が安全に登下校できる環境整備をする上で、有効な道具となっている。 ・ベストをつけることで、街頭指導に立つPTA会員の方の自覚を高めるとともに、地域の方や児童の安心感に繋がった。
<p>津幡町</p>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の通学路のパトロール ・地域のイベントやお祭りでの見守りパトロール <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パトロール（見守り活動）をするにあたって、ステッカーを積極的に車に貼ることで「見える形」での抑止力向上、地域住民の防犯意識の高揚が図られた。

	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民と連携し、防犯啓発を実施する際に、挨拶・声かけがしやすくなった。
かほく市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度、かほく市3中学校（生徒会執行部が中心）で制定した「かほく市中学校ネットルール」を、今年度は市内の小学校でも啓発することとなった。（今年度より「かほく市ネットルール 共同宣言」となる。）16,000部のチラシ（図1、2参照）を作成し、全児童・生徒、全保護者に配布し、子どもをネット利用の危険性、ネットトラブルから守るため、家族でネットルールを順守することを呼び掛け、徹底する。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨今、スマホやタブレットを多くの中学生が持っている時代である。ネットいじめやスマホ依存など学校現場にも問題が発生している。そんな状況を改善していくには子どもたちの力（自制心や自己コントロール）だけでは限界がある。家庭でルールをつくり、きちんと守る、守らせることが、子どもを危険から守ることになる。本チラシによって、ネットルールを啓発し、より今の状況が改善されることを期待した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
宝達志水町	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室や防災教室などを開催し、安全啓発につなげた。 自転車安全運転に関わる啓発ビラを作成、配布を行った。 通学路内の危険箇所を記した安全マップと町ハザードマップを参考に津波、洪水の危険場所を記したマップを作製した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者が共通の体験をすることにより、災害や安全に対する意識を高めることができた。 交通マナー向上やヘルメット・安全タスキ着用を推進する動きが見られるようになった。 教職員、保護者、地域が校区内の危険箇所について共通理解することができた。また、児童が危険予測・回避能力を育てることにつながっている。
志賀町	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託費を4校に分配し、立ち入り禁止テープ、プラバー、安全コーン、コーンベッド、携帯用拡声器、プラエコー笛、反射たすきなどを購入した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 校地内通り抜け車両の防止や、学校行事の際の安全な駐車のために活用したり、児童生徒の安全対策の活動に使用したりするなど、安全対策と意識の向上に役立った。
羽咋市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 各PTA（市内6小学校、2中学校）において、警察や防犯協会の方々を招いての交通安全教室や不審者対応教室、安全ボランティアやPTA役員による登下校時の街頭指導、消防士や専門指導員による水上安全法や心肺蘇生法などを実施し、児童・生徒、PTA会員及び地域住民への安全啓発に努めた。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室を実施し、横断歩道の渡り方や自転車の正しい乗り方等について教わり、基礎的な交通ルールの確認と安全な行動について学ぶことができた。 毎日の登下校時、安全ボランティアの方々による見守り活動や、学期初めの強化週間におけるPTA役員の街頭指導により、車や不審者等からの児童生徒への安全が確保されるとともに、それに対する感謝の心を育てることができた。 児童生徒やPTA会員が水難事故での救助法や心肺蘇生法及びAED講習を受けることで、プールや海での安全な遊び方や泳ぎ方を理解するとともに、プール開放のための準備や監視員としての役割や対処法について学ぶことができた。
中能登町	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施、パトロール隊による登下校の見守り、安全街頭指導 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 各PTAで統一された安全指導グッズが整備され、指導の安全・啓発に大変役に立った。

七尾市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全教室（自転車運搬費他）や体験型防犯教室開催など ・不審者侵入を想定した避難訓練・防犯教室開催（看板・ポスター作成） ・交通安全指導のため、フラッシュボタン購入 など <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校での安全啓発活動のための経費の一助となった。
穴水町	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED ライトや救急セット、メガホン等を購入し、災害発生時の防災用品として配備した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震津波避難訓練時に防災用品を持ち運ぶ訓練やメガホンを使用しての指示等に活用することができた。
能登町	<p>内容</p> <p>（鶴川小）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より秋のマラソン大会を、鶴川の商店街周辺で実施している。児童が車道を走るための安全対策として、ハンドメガホンとコーンバーを購入した。 ・湿気が多い時に廊下が滑りやすくなることがある。児童の転倒によるケガを防止するため、啓発用看板とセンサーライトを購入した。 <p>（宇出津小）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇出津っ子見守り隊」による児童の登下校時の安全見守りを、年間を通じて行う。また、毎月1日・15日には、町内4箇所及びスクールバスの乗降場所で、「安全挨拶運動」として、挨拶の啓発を兼ねて児童の安全見守りを行う。「そのための校名入り安全ウインドブレーカー、ベスト購入した。 <p>成果</p> <p>（鶴川小）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会では、事前に危険な箇所が分かるようコーンバーで印をつけたり、ハンドメガホンで児童等に注意喚起したりすることで、大会を安全に実施することができた。また、廊下に転倒防止用看板やセンサーライトを設置したことが、児童の転倒防止に役立った。 <p>（宇出津小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の方やPTA 会員が行う「安全見守り活動」「安全挨拶運動」において、新調した色鮮やかなウインドブレーカーは人目を引くものとなっている。活動をしている方がどこにいるのかが一目でわかるため、児童は安心して安全な登下校ができています。また、校名入りウインドブレーカーを着用することで、保護者・地域の方がしっかりと児童の見守り活動を行っていることを周囲にも知らせることとなり、不審者への抑止力にもなると感じている。
輪島市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成率100分の100、助成上限を1万円としてトランシーバーの購入を希望する単位PTAに対し購入助成を行った。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外でのクラブ活動、運動会などの屋外行事において事故発生時における救助を求める伝達手段は、教職員や保護者などの携帯電話や誰かが助けを呼びに行くというものであったものが、トランシーバーの導入により迅速かつ的確に救助連絡できるようになった。
珠洲市	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タープテントを購入し、熱中症対策に利用した。 ・交通安全のぼり旗を作成し、学校下交差点付近での交通安全を呼びかけにしようとした。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タープテントを利用することで、保健体育の水泳の授業でプールサイドに設置することで、生徒の熱中症予防となった。また、体育祭の競技練習、部活動練習の際の熱中症対策にも利用することができた。 ・各学級で交通安全のぼり旗を作成し、それを使用した交通安全の呼びかけや交通安全キャンペーンを行った。生徒が中心となつてのぼり旗の作成や交通安全の呼びかけを行ったことで、生徒一人一人の交通安全への意識が高まった。 <p>4 事業で購入した物品と活動の様子</p> <p>①タープテント 2セット ②交通安全のぼり旗を使用した交通安全キャンペーン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;">    </div>

